

大問	配点	単元	難易度	テーマ	目安時間(分)	特徴	2026年度 本試験 平均得点率	2025年度 本試験 平均得点率
全体	100	—	難化	—	60	—	56.59%	69.26%
第1問	20	情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン コンピュータとプログラミング 情報通信ネットワークとデータの活用	昨年並	小問集合	13	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの記憶装置の特徴や情報セキュリティに関する知識 ・クロスステッチの刺繍と2進法・16進法での表現やその変換方法の理解 ・生年月を入力させるインターフェースの考察 ・電子メールの送受信におけるメールサーバの仕組みの理解について問われた ・昨年より難化しており、クロスステッチの刺繍のデザインや生年月を入力させるアプリなど、実生活との結びつきを感じさせる出題が目立った 	40.50%	65.44%
第2問A	15	情報通信ネットワークとデータの活用	昨年並	住民証明の入手に関する 情報システム	10	<ul style="list-style-type: none"> ・住民証明の入手に関して、紙媒体か電子データかによる違いやアクセスコード・確認依頼コードを導入した際の仕組みについて考えさせる問題 ・情報システムの問題点を改善していく流れで、実際のシステム開発に意識した出題となっている 	58.11%	76.11%
第2問B	15	コミュニケーションと情報デザイン コンピュータとプログラミング	やや難化	画像の透過処理と論理演算	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの画面などにおける画像の透過処理を題材に論理演算の仕方などについて考える問題 ・題意の読み取りが難しく、必要な情報を整理しながら解き進める必要がある 		
第3問	25	コンピュータとプログラミング ※「プログラミング」のみ	昨年並	来訪者の体験時間と待ち時間の シミュレーションを行うプログラム	13	<ul style="list-style-type: none"> ・問1ではプログラムは登場せず、実際の処理を確かめる問題が出された ・問2以降は、プログラムの空所補充や挿入位置を考えさせる問題などが出された ・配列の添字は1からであり、条件分岐や繰返しの制御文のほかに、論理積を表すandも出題された 	57.77%	64.73%
第4問	25	情報通信ネットワークとデータの活用 ※「データの活用」のみ	昨年並	桜の開花日に関する データの分析	12	<ul style="list-style-type: none"> ・表、散布図、箱ひげ図、回帰直線の読み取りや活用について出題された ・問1ではオープンデータや欠損値の知識を確認する問題が出された ・問4は開花推定日の補正について考察する問題で、データの活用の応用力が問われた 	66.45%	68.64%